



腰痛改善 臨床編

その 2



❖はじめに

【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

もくじ

1 : お灸の熱さに悶えながら快感を感じている間に腰痛改善.....	4
2 : 子宮頸癌の問題か？腰痛が改善したポイントは？..	8
3 : 腰が曲がってきて痛い時の対策にお腹のお灸が効果的.....	12
4 : ストレートネックで改善不能と言われた腰痛・肩こり.....	16
5 : うつ伏せで膝を曲げると腰が痛い.....	20
6 : 指を腰の奥に入れたくなるような痛み.....	23
7 : スポーツ後遺症による腰痛	30
8 : 婦人科と内科で問題なしの腰痛と腹痛.....	35
9 : 子供を抱っこし過ぎて腰痛	38
10 : 何をしてもつらい腰痛	44

❖ 1 : お灸の熱さに悶えながら快感を感じている間に腰痛改善

40代 男性

小走りすると腰が痛いということで来院。

まず、うつ伏せになって背中を触った瞬間に「疲れてますねえ！」と言うと「疲れてません！」と言われてしまった。

そして、肝臓の疲れも表れているので、「お酒は飲むんですか？」と聞くと「飲みません。」と言う返事。

それ以来黙ってしまった。

こういう場合は、だいたい「腰が痛いんだから、腰だけ見

てりゃあいいんだよ！」的な考えを持っている人が多いので、黙ってお灸を始める。

しばらくすると、身体が動き始めたので、「熱いですか？」と聞くと「熱くないです。」との返事。

さらに、また動くので「大丈夫ですか？お灸取りますか？」と聞くと「大丈夫です。」との回答。

でも、動く。

というより、悶えてる？

お灸を終え、立ち上がってもらおうと、痛みが取れていて、満足げな表情になっていた。

そして、着替え終わり、カーテンから出てくると、「お灸を初めて受けたんですが、熱さの後に快感があるんですね！」と言われた。

そのような表現を聞いたのは、初めてだったので、少し戸惑ってしまったが、満足したということだろう。

少し時間が経つと、子供がまだ小さくて、夜中に何度も起こされたり、毎晩のように飲み会とマージャンで、家に着くのが1時から2時頃であるという話をし始めた。

「ってことは、疲れてもいるし、酒も飲むってこと？」と
思いながらも、「少しでも睡眠を取れるといいですね。」
と言って、終了とした。

しゃべらない患者さんには、こちらも話しかけない。

しゃべりたくなったら、何でも話し始めるもの。

ここまですれば、信頼関係が築け始めたといってもいいだろう。

まずは、身体を楽にすることで、しゃべる余裕が生まれる。

これが、東洋医学の面白いところですね。

❖ 2 : 子宮頸癌の問題か？腰痛が改善した ポイントは？

20代 女性

左の下腹部と、腰が痛く、みぞおちが苦しくつらいということ
ことで来院。

元々、子宮頸癌を持っていて、その影響では？と心配して
の来院である。

予約当日、患者さんの都合で、大幅に開始時間が遅れてし
まい、治療に使える時間は、ほんの15分程度となってし
まった。

そこで、本治法（症状の元になっている部分を治したり、
体質改善を行う方法）はやらずに、症状のみを改善するこ

とに全力を傾けることとした。

まず、左腹痛と腰痛が、大腰筋によるものではないかとの推測から、仰向けで、お腹を触りながら、脚を動かす。

脚腰の連動性がまったくないことから、ほぼ大腰筋による影響と考えられる。

そこで、大腰筋の異常反応が出ているツボへ、鍼を刺し、再度、脚を動かすと、今度はスムーズに動く。

そして、「何か、腰のつらさも急に落ち着いたみたいです。」

次に、みぞおちのつらさに関しては、精神的な緊張（子宮頸癌が悪くなっているんじゃないかと心配して）が、みぞおちから伝わってくる（左右の肋骨の固さから）ため、こ

れも、手足のツボに鍼を行い、固さを緩めて終了。

あっという間に時間は終わってしまったが、立ち上がってもらおうと「楽になったあ！本当に無理して来て良かった！全然痛くなくなった。」と大喜びであった。

ただ、最後に脈を確認したところ、あまり力強さを感じられなかったので、早目に本治法をやる必要があることを伝えた。

このように、鍼というのは、大変即効性がある。

しかし、根本を診誤ると即効性どころか、逆に悪くしてしまうところがある。

従って、早く治せばいいというより、早く根本を見つけ

られる能力が、鍼には必要なのだろうと、最近強く感じるようになった。

全ての症状に対して、今回のような対処が出来ればいいのだが…。

まだまだ、未熟者ですので、うまくいかない場合はご勘弁を。（苦笑）

❖ 3 : 腰が曲がってきて痛い時の対策にお腹のお灸が効果的

40代 男性

元々腰痛を持っていたが、最近立っている時に腰が曲がってきて、自分で腰を触っても、歪んでいるのがわかるほどになっている。

今月から部署が変わり、毎週、全国へ出張しなければならなくなった。

まずは、明日初めての出張があり、新幹線で移動しなければならない。

こんな腰では、出張先でまともに動けないので何とかして

ほしいと来院。

立っている姿勢から、この腰痛は、大腰筋だろうと予想していたので、仰向けで腹部の治療から始める。

まず、腹部を触りながら、脚を動かし、問題の大腰筋の動きを確認する。

「やはり、大腰筋だ！！」

そこで、腹部と脚にお灸を行う。

次に横向きになってもらうが、その動作中に、「お腹のお灸は気持ち良いんですね！」と言われる。

10年以上前であれば、ほぼ100%男性陣が、この言葉を発することはなかったであろう。

それだけ、男性の体力が低下し、身体的には女性化し始めている証拠だろう。

仕事で身体を動かさなければ、筋肉がなくなり冷えてくるのも仕方ない。

あと、20年もしたら人間の身体はどんな変化をしているのだろうか？

そんな想像はさておき、横向きで、腹部と腰部のバランスを取るように、お灸を行い、背骨の動きがスムーズになったところで、立ち上がってもらおう。

すると、「助かったあ！全然痛くなくなったあ！」と、ため息交じりにつぶやいていた。

しかし、これから長距離移動が続き、気温は上がっていくので、冷房にあたる時間も増えるだろう。

冷房にあたったまま、じっとしていると筋肉は固まってしまふ。

動ける時に身体を動かしていないと、いつまた同じような痛みが出てもおかしくない。

なるべく、汗をかくように身体を動かす時間を設ける必要があるだろう。

❖ 4 : ストレートネックで改善不能と言われた腰痛・肩こり

30代 女性

昔から、首こり、肩こり、腰痛が強く、何度か病院で診てもらったが、どこでも、ストレートネックだから仕方ないと言われ、ほぼあきらめている状態。

しかし、家族が当院で治療を受け始めて、良くなっていくところを目の当たりにし、来院を決意。

まず、うつ伏せで全体をチェックしたあとに、私が言った一言「これは、ストレートネックではなくて、背骨が全部真っ直ぐですよ。」

患者さん「ええ～！！じゃあ、ストレートネックよりひどいってことですか？」

私「というより、首だけ治しても、治らない首ということ
です。元は腰ですからね。」

背骨を横から見ると、軽いS字状にカーブしているのが、
生理的湾曲と言って、一番身体に負担のかからない体勢で
ある。

ところが、この方のように真っ直ぐな背骨になってしまう
と、頭の重さが全て背骨上に押し掛かってしまい、疲労感
が生まれやすくなってしまうのだ。

さらに、この方の場合、脈からも脚の触診からも、子宮に
弱さがありそうである。

そのためにも、腰の形をしっかり整える必要があるのだ。

まず、弱くなっている筋肉をお灸で正してから、整体を行うことにした。

すると、全ての元凶は、腸腰筋（大腰筋と腸骨筋からなる筋肉で、主に背骨の支え役となる筋肉。）にあることが診えてきた。

従って、腸腰筋の状態を正常に戻すための操作を十分に時間をかけて行った。

ほとんど肩や首を触っていないが立ち上がってもらうと、

「何か違う！何か軽い感じ！！肩がすごい楽です！！！」

と、段々とテンションが上がりながら、楽になっていることを実感していた。

ただ、問題はここからで、腸腰筋を動かせば楽になることは分かった。

しかし、普段の生活で、腸腰筋を動かす動作はほとんどないに等しい。

そのため、この筋肉を動かす運動を行ってもらうことにした。

やることは、もも上げと後ろへ蹴り出すだけである。

この筋肉がしっかりしてくれば、背骨に湾曲が作られ、症状も落ち着くだろう。

そして、子宮がしっかりしてくれば一安心である。

❖ 5：うつ伏せで膝を曲げると腰が痛い

千葉県在住 60代 男性

1か月ほど前から、うつ伏せで膝を曲げると、腰が詰まるような感じになり、非常につらいとのこと。

まず、うつ伏せで背中全体のチェックを行う。

ここでは、それほど大きな問題は診られなかった。

次に、膝を曲げながら、腰がどのように変化するか確認すると、腰よりもむしろ、お腹の方が詰まるような動き方をしている。

これは、完全に大腰筋（背骨の前側から太ももの骨につな

がる筋肉)の緊張による動き方なので、横向きになっても
らい、大腰筋と腰の筋肉の柔軟性をそろえるように、鍼を
行う。

そして、仰向けでは、股関節と骨盤の動きに連動性が出る
(通常脚を動かすと、それに合わせる形で骨盤も動く)よ
うに、鍼を行う。

これで、もう一度うつ伏せになってもらい、膝を曲げても
らう。

続けて、立ち上がってもらい、腰の違和感を見てもらうと、
どちらの動きにも痛みが出ず、楽になっていることが確認
できた。

では、なぜ大腰筋が固まってしまっていたのか？

実は、最近、習っているダンスで、歩き方を変えるように
努力しているとのこと。

その歩き方が、問題だったようだ。

どんな症状にも、必ず原因がある。

原因さえ分かれば、すぐに対応策を立てることができる。

生活の中で、いつもと違うことを行った場合、それが原因
となり、後々症状を表すことが、多々あるので覚えておく
といいだろう。

❖ 6 : 指を腰の奥に入れたくなるような痛み

埼玉県在住 30代 女性

3年程前から、左の腰が痛くなる。

それも、「ここの奥！！」と限定できる一点が、ずっと痛いとのこと。

マッサージにはよく通っているが、一度もこの痛みが取れたことはないという。

まず、うつ伏せで全体のチェックを行う。

すると、腰が大きく歪み、それとは別に、背骨の両側の筋肉が痙攣しているように固まっている。

これは、相当強い衝撃が身体に加わらなければならない状態。

原因は、交通事故や転落事故、もしくは、背骨全体を何度もボキボキ鳴らしたことによるものに絞られる。

すると、この患者さん、7～8年前に、交通事故の経験があった。

しかし、あまり痛みなどの症状はなかったとのこと。

一瞬、「この事故とは関係ないのか？」とも思ったが、詳細を聞くことにした。

「その交通事故は、どのような事故だったか覚えていますか？」

「はい、私が横断歩道を歩いているときに、軽自動車があっつんできて、弾き飛ばされて、ガードレールまで飛ばされて、そこでぶつかって倒れたって、見てた人が言っていました。」

「ということは、その瞬間の出来事は、あまり記憶に残ってないということですか？」

「はい、気づいたら、周りの人が「動いちゃダメ！救急車を呼びますね！」と言われ、病院へ運ばれたんです。病院へ着いても痛みはどこもなかったんですが、3日間入院させられました。」

「病院では、何か異常は見つかったんですか？」

「何もなかったです。」ということだった。

これで、原因ははっきりした。

これだけの交通事故で、どこも無事なはずはない。

一瞬でも記憶が飛んでいるということは、脳がかなり揺れたということ（脳震盪）。

脳が揺れるには、背骨が揺れるような、強い刺激がなければ起きない。

ということは、全身のむち打ちをしているということだ。

しかも、きれいに全部の背骨が動いたため、その背骨を安定させるために、両側の筋肉が固まって保護をしているのだ。

そして、最も動いた場所が、腰の痛い部分なのだろう。

この状態を確認するように、整体を行っていくと、左の骨盤と膝が、思うように動かない。

そこで、「膝は怪我したことがありますか？」と聞くと、「いいえ、一度も痛くなったことはありません。」

すると、交通事故で、膝をぶつけている可能性がある。

膝の動きを改善するような鍼を行うと、あっという間に腰や骨盤の動きが良くなった。

どうやら、直接腰を悪くしていたのではなく、膝が悪いのをかばっていて、腰が悪くなったようである。

交通事故というのは、非常に緊張感の強いものである。

緊張感が強ければ強いほど、感覚というものは狂ってしまうもの。

交通事故の怖さが全身を覆っていれば、痛みなど吹き飛んでしまう。

そのため、交通事故の痛みというのは、何年も経過してから、ある日突然現れたり、じわじわと症状を表面化させていくものである。

そして、交通事故の恐怖感というものは、一生脳から離れないのがつらいところ。

従って、なるべく身体が楽でいられるような調整を、常に行っていないと、いつつらさが表れるかわからない恐ろしいものなのである。

この患者さんは、ぶつかった衝撃で、一瞬にして記憶が飛んだことで、無理な力が入らず、全身に均等な力が加わり抜けて行った。

そのため、事故直後には、全く症状がなく終わることができた。

それでも、今こうやって、症状が出てしまう。

それほど、交通事故の影響は強いと言えるだろう。

すっかり、治った患者さんは、他にも小さいころからの気になる症状があるため、継続して通われているが、今後も事故の影響が表れる可能性を秘めているため、常に注意を配る必要があるだろう。

❖ 7 : スポーツ後遺症による腰痛

埼玉県在住 30代 男性

7～8年前から腰痛が始まる。

腰や臀部の芯に、張っているようなだるいような感じの痛みが、ずっと続いているとのこと。

まず、うつ伏せで全体をチェックしていくと、年齢にしては、かなりの筋力低下がみられる。

通勤には車を使い、仕事では部屋にこもり切りで、全く身体を動かさない生活をしているらしい。

これでは、筋肉がなくなっていくのも仕方ない。

しかも、学生時代には、14年間もラグビーをしてきた。

そして、そのラグビーで鍛え上げた筋肉も、ほぼなくなっているのが問題である。

身体を動かすことで、どの程度筋肉の柔らかさと膨らみが（筋肉の良い状態はこの柔らかさと膨らみが必要）戻るか、慎重に確認しながら、整体を行った。

すると、ほぼ一つの筋肉が強力に固まったことにより、周りの筋肉も動けなくなり、筋力低下を作り上げていることがわかった。

その筋肉は、このブログで再三出てきている大腰筋である。

それ以外の筋肉は、見事にふくらみが出てきた。

これは、身体を動かすことで、健康を守ることができるという、身体である証拠だ。

それにもかかわらず、身体を動かさない仕事に就き、普段も運動をしない生活をしてきたために、不調が出始めたのだ。

この先も同じ生活を続けていけば、症状はさらにひどくなるだろう。

逆に、身体を動かすことを日課に組み入れられれば、かなりの症状がなくなるはずである。

現に、整体後に立ちあがってもらおうと、「うわっ！何か、何か、今までにない感じです。こんなバランス感覚初めてです。」と、非常に楽になったと喜んでいました。

筋肉を伸縮させるだけでも、筋肉は活性化する。

当院の整体は、関節の可動域を、筋肉に伸縮運動を加えながら広げていくことで、身体の歪みやバランスを整える方法を取っている。

たったそれだけでも、筋肉にふくらみが出るということは、どれだけ動かしていなかったかが分かる。

通常は、筋肉にふくらみを持たせるのは、ウエイトトレーニングなどの筋力トレーニングをしなければならない。

しかし、過去にふくらみのある筋肉をつけた経験があれば、その筋肉を動かし、周りに血液が集まってくれば、どんどん昔のようなふくらみが戻ってくるのである。（筋力低下の度合いにもよるが）

筋肉を大きくすればするほど、筋肉の周りに多くの血液が流れてこなければならぬ。

流れてこなければ、栄養補給も老廃物の除去もできず、どんどん疲れがたまってくる。

疲れがたまりすぎれば筋肉はもろくなり、古びた輪ゴムのようにはびびが入ってくる。

これが痛みの原因だ。

だから、身体を動かさなければならぬ。

そして、この方の原因となっている大腰筋は、前かがみもしくは座っている時間が長いことで固まる。

従って、腰回りの筋肉を良く伸び縮みさせることがポイントなのである。

❖ 8 : 婦人科と内科で問題なしの腰痛と腹痛

30代 女性

1週間ほど前から、下腹部が痛くなり、次に腰痛、そして、股関節の痛みが出始めた。

そして、夜中に寝がえりを打つと、激しい痛みで目が覚めてしまうとのこと。

下腹部から痛み始めたことから、婦人科を受診し検査を受けるが、問題なし。

次に、内科を受診するも、ここでも問題はないといわれる。

そこで、インターネットを使いいろいろ調べていると、全く同じ症状の人が、骨盤の歪みを正したら治ったと出ていたので、それをプリントして来院。

まず、これを見てくださいと、そのプリントを渡され、「話すより見ていただいた方が早いと思うので、私と全く同じ症状なんです。」と告げてきた。

その内容を念頭に、うつ伏せになってもらい、身体を診ていくと、骨盤の歪みは確かにある。

しかし、歪みよりもむしろ、私には大腰筋の固さの方が気になる。

そこで、大腰筋をゆるめるように整体を行っていくと、体位を変える度に「何か痛くないかも！あっ！楽かも！」と

連発。

ほぼ調整を終え立ち上がってもらおうと、「うそ！痛くない！
治ったあ！あんなに痛かったのにい！！！」とご満悦な様子。
子。

この方の症状は、下腹部痛、腰痛、寝返り痛、股関節痛であった。

これは、すべて、大腰筋の症状である。

ネットで紹介があった症例も、骨盤矯正を行ったことで、
大腰筋が緩んだのだろう。

しかし、同じ症状でも、内臓の反射痛として出ることもある。

まずは、病院で検査を受けることも重要である。

❖ 9 : 子供を抱っこし過ぎて腰痛

40代 男性

休み明けになると、必ず右の腰が痛くなる。

原因は分からないという。

まず、うつ伏せで全体のチェックを行うと、右側よりも左側の方に異常が診られる。

左の腰と左の大腿部（太もも）の裏側にある筋肉が、異常に盛り上がっているのだ。

それに引き換え、右側は固さもなければ動きも良い。

しかし、痛みは右にある。

右側が痛いから、左でかばっているのだろうか？と思いつつ、お灸で腰回りのバランスをとることにした。

すると、右のお灸は、気持ち良く感じるが、左側は異常に熱いと言いだした。

ということは、右よりも左の方が悪いという、証明である。

では、なぜ左側の筋肉が強くなっているのか？

なぜ、痛みが右に感じているのか？

「何か、仕事で重いものを持ったりしますか？」

「いいえ。」

「左に重い荷物を持つこともないですか？」

「ありません。」

「左側で力を使うようなこともないんですか？」

「はい。」

心の中で（参った。何も原因が見つからない。何でこんな
バランス異常が起こるんだ？）と、思いつつ、

「スポーツは、何かされてますか？」

「ゴルフや野球をします。」

「どのぐらいの頻度でやりますか？」

「毎週日曜日に。でも、遊び程度ですよ！」

「休日は、一日中身体を動かすことが多いですか？」

「いいえ。」（?スポーツやってても、身体を動かしてない時間の方が多いということか?）

「休日は、他にどんなことをされるんですか？」

「ほとんど家にいます。」

「へ?ゴルフや野球をされてるんじゃないんですか？」

「お遊び程度なので。」

「それでは、家で何をしてるんですか？」

「何もしていません。」

「ゴロゴロしているってことですか？」

「いいえ、娘が小さいもので、ずっと抱っこしてるんです。」

「娘さんの体重は？」

「14kgです。」

これで、腰痛の原因が診えてきた。

この方は、それほど身体が大きくなく、筋肉質でもないため、14kgもあれば、十分ウエイトトレーニングになる。

しかも、右利きのため、左でばかり抱っこしていることで、左の脚腰を鍛えてしまったのだ。

その左の筋力があるため、ちょっとした動きの時に、右側の筋力では、持ちこたえられず痛みが出てしまうようだ。

そのため、ある程度お灸で、腰のバランスは取れたが、筋肉量はどうにもできない。

従って、右腰の筋力は、鍛えてもらうことにした。

これは、いたって簡単。

右手で抱っこするようにすればいいだけである。

ただ、身体全体が、右の抱っこに慣れるまで、他の痛みを
発するかもしれない。

しかし、将来的に考えて、腰の筋肉の左右差はない方が良
い。

そのためにも、バランスが取れるまでは、頑張っ
て右側を鍛えていくしかないのだ。

なぜなら、子供が可愛くて可愛くて、抱っこして
いたいのだから！！！！

❖ 10 : 何をしてもつらい腰痛

40代 男性

ぎっくり腰は、今までに何度も経験しているが、今回の痛みは今までと違う。

何をしても常に痛い。

しかし、ぎっくり腰ほど突然の痛みがあるわけでもない。

原因は分からず、いつの間にか、今の症状が、落ち着いてしまった感じ、ということで来院。

まず、うつ伏せで背中全体のチェックを行う。

常に痛いということは、腰の筋肉がパンパンに張っているのかと思いきや、全然張りが無い。

むしろ少しだけ緩んでいる感じ。（疲労がある場合の状態）

ところが、腰が疲れるような作業は全くしていないとのこと。

さらに、脚の状態もチェックしていくと、膝の裏側にある筋肉がパンパンに張っている。

これが、腰に負担を与えている大本だろう。

そこで、膝の裏の固いところへ鍼を行うと、その瞬間から腰の状態が良くなった。

どうやら、椅子に座っている時間が長く、冷房で冷えたこともあり、膝の裏側にある筋肉が固まってしまったようである。

このことを伝えると、「あっ！じゃあ、足がつったのもそれが原因ですか？普段つらないのに何でつるんだろう？と思っていたんです。」と、ビックリしながら聞いてきた。

筋肉自体につながりはないが、身体は皮膚一枚に覆われている。

従って、どこかの筋肉が、緊張し膨らんでしまえば、どこかが引っ張られてしまう。

今回のケースでは、膝の裏側の筋肉が、パンパンに固まり腫れ上がっていたことで、その上側にある腰と、下側にあ

るふくらはぎに、負担をかけたということになる。

そのため、膝の筋肉の張りをとるように、鍼を行ったことで腰の負担がなくなったのだ。

この後、もう少し鍼で、脚腰のバランスをとるよう調整し、立ち上がってもらおうと、

「軽い！！完全に抜けたって感じです。ありがとうございます。」と、非常に喜んでいただいた。

今回のように、同じ姿勢で冷えが加わると、筋肉は簡単に固まってしまう。

冷えたと思った時は、身体を動かせるときに、十分ほぐすようにしましょう。

もっと**健康**になるために

もっと詳しい健康情報をご希望の場合には、下記から、
全102ページ、販売価格1,980円

あなたの症状が治らない9つの理由

というレポートを**無料でプレゼント**させていただいています。
このレポートを請求していただいた方は、健康に関する情報が、ご登録のメールアドレスに、毎日届くようになります。
このレポートとメルマガだけでも、十分にあなたの症状を改善するヒントを得られるような内容になっています。
こちらから無料で請求できますので、積極的にこの機会を利用してみてください。

レポート請求はこちらをクリック



QRコードからも請求できます。



作者：キュアハウス鍼灸治療院 院長 中村幸生

メールアドレス：info@curehouse.jp

★共に健康になり幸せな人生を歩むための学びをしていきませんか？：「キュアハウスの健康幸生塾」

<http://curehouse.jp/blog/kouseijuku/>

★どの健康情報とも全く違う視点であなたの症状を取り除く教材がそろっている：「キュアハウス健康情報館」

<http://curehouse.biz/>

★原因不明の症状を徹底的に解明し改善法を手に入れることができるブログ：「原因不明の痛みや病気を改善するたった3つの秘訣」

<http://blog.livedoor.jp/curehouse/>

★病院や治療院に何度通ってもなかなか治らない症状を専門とする鍼灸整体治療院：「キュアハウス鍼灸治療院」

<http://www.curehouse.jp/>



このレポートは、医療に頼らずに、自分自身で症状の原因を見つけ出し、病院の無駄な待ち時間の間に、自ら症状を改善できるような知識と技術をつかみ取っていただくためのヒントを掲載しています。

このレポートにより、あなたの将来における不安が少しでもなくなれば幸いです。

キュアハウス鍼灸治療院
院長 中村幸生